

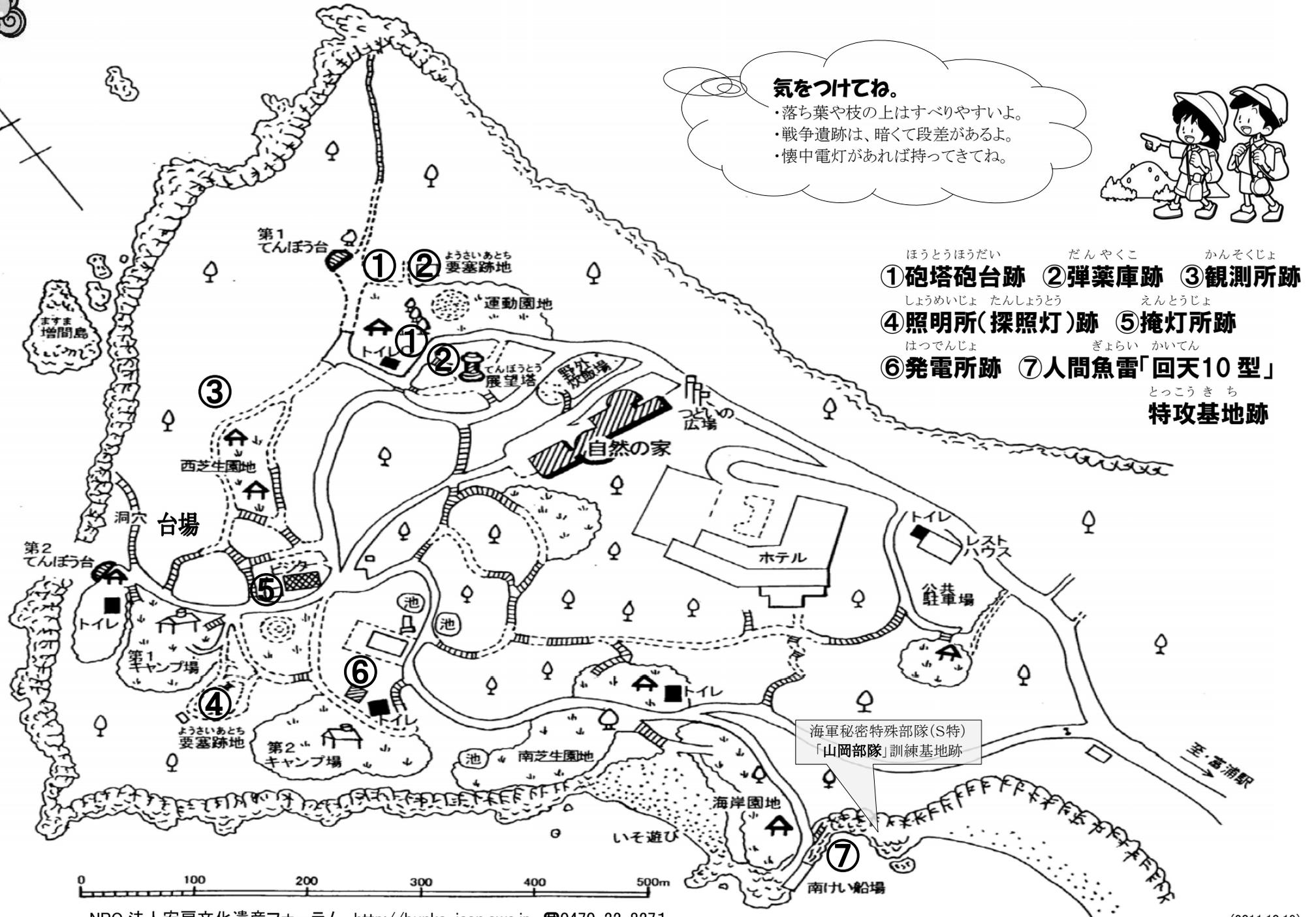
大房岬の戦争遺跡を歩いてみよう！

学校 _____ 年 _____ 組 なまえ _____



気をつけてね。

- ・落ち葉や枝の上はすべりやすいよ。
- ・戦争遺跡は、暗くて段差があるよ。
- ・懐中電灯があれば持ってきてね。



- ① 砲塔砲台跡 (houhouhou dai)
- ② 弾薬庫跡 (dan yakuko)
- ③ 観測所跡 (kansokusho)
- ④ 照明所(探照灯)跡 (shoumeisho)
- ⑤ 掩灯所跡 (entensho)
- ⑥ 発電所跡 (hatudenjo)
- ⑦ 人間魚雷「回天10型」特攻基地跡 (ningen uro)

海軍秘密特殊部隊(S特)
「山岡部隊」訓練基地跡

とうきょうわんようさい たいぶさみさき
***「東京湾要塞」の大房岬** (南房総市指定文化財)

東京湾の入口にあたり、館山湾を囲んで突き出した洲崎と大房岬は、幕末から黒船来航に備えて防衛の重要拠点となりました。1811(文化 8)年、大房岬の西端にお台場が築かれ、13挺の大筒が設置されました。

明治期になると、国内のおもな海峡や港湾の防衛のために、大規模な要塞建設が始まりました。要塞とは、戦略上重要な地点を外敵から守るために築かれた構造物、砦(とりで)のことをいいます。「東京湾要塞」は、1880(明治13)年から1932(昭和7)年まで50年かけて建設されました。なかでも大房岬は、1928(昭和3)年から4年がかりで砲台が築かれ、民間人の立ち入りは禁止されました。

ほうとうほうだい
①砲塔砲台跡

海軍軍縮によって廃棄された巡洋艦「鞍馬」の副砲(口径20センチ2門入り)2基を手動式に改造して設置したもので、砲の射程は約18,000メートルです。対岸の剣崎(けんさき)砲台とともに東京湾を護るために設置されました。

だんやくこ
②弾薬庫跡

砲塔砲台の後方に砲側弾薬庫を設け、南の谷間に洞窟式弾薬庫が設けられました。砲側弾薬庫には、発射できる完成弾丸と発射装薬が貯蔵され、洞窟式弾薬庫には、炸薬の充填されていない弾丸と炸薬・装薬などが貯蔵されました。

かんそくじょ
③観測所跡

砲台指揮官が位置し、侵入する艦艇に対して射撃指示をすところ。この砲台の観測所は、旧お台場の北側に地下コンクリート造りとして構築され、観測具室、算定具室、計算室・通信室・司令室が設けられました。

しょうめいじょ たんしょうとう えんとうじょ
④照明所(探照灯)跡 ⑤掩灯所跡

直径2メートルの探照灯が2基配備され、第1・第2の照明所・掩灯所が配置されました。探照灯は普段は掩灯所に格納されているが、必要により、台車に載せレール上運搬し照明所に設置されます。第2照明所は防空用として利用されました。

はつでんじょ
⑥発電所跡

砲塔の後方に設置された小発電所は、砲塔・砲側庫・観測所などの電源用としてそれぞれ地下に造られました。探照灯用として50馬力27キロワットのディーゼル発電機が2機設置されました。

ぎょらい かいてん とっこうきち
⑦人間魚雷「回天10型」特攻基地跡

「回天10型」は、人間が航空魚雷にまたがって操縦し、敵艦に体当たりする特攻兵器のことです。本土決戦にそなえ、館山湾に敵艦が現れると、格納壕から水中まで敷かれたレール上を台車に乗せたまま押し出し、発射する基地でした。

年 表		
1811	文化 8	大房岬にお台場を建設
53	嘉永 6	黒船来航
54		日米和親条約
67	慶応 3	大政奉還
68	明治 1	明治維新
73	6	徴兵令
74	7	台湾出兵
80	13	東京湾要塞・観音崎第二砲台建設開始(三浦半島)
94	27	日清戦争
99	32	要塞地帯法
1904	37	日露戦争
10	43	韓国併合
14	大正 3	第一次世界大戦
18	7	シベリア出兵
21	10	東京湾要塞・第三海堡建設、ワシントン海軍軍縮条約
23	12	関東大震災
24	13	東京湾要塞復旧工事
27	昭和 2	洲崎第二砲台竣工、洲崎第一砲台計画
28	3	大房岬砲台起工、洲崎第一砲台起工
30	5	館山海軍航空隊開隊(館山湾を埋め立て)
31	6	満州事変
32	7	大房岬砲台竣工、洲崎第一砲台竣工、永久要塞「東京湾要塞」完成
33	8	国際連盟脱退
35	10	館山海軍航空隊に九六式中型陸上攻撃機(中攻)配備
37	12	日中戦争、渡洋爆撃(木更津基地より「中攻」発進)
38	13	国家総動員法
39	14	国民徴用令、第二次世界大戦
40	15	紀元2600年記念式典
41	16	館山海軍砲術学校開校、ハワイ真珠湾攻撃 館山基地で海軍落下傘部隊1,500名養成 千葉県で花作り禁止令
42	17	フィリピン・マニラ・シンガポール・ビルマ・ラングーン占領 ミッドウェイ海戦敗北
43	18	朝鮮に徴兵令実施、アッツ島玉砕 洲ノ埼海軍航空隊開隊、学徒出陣、都市疎開実施
44	19	学童疎開、サイパン島玉砕、南房総・九十九里一帯で陣地づくり開始 館山海軍砲術学校で秘密特殊部隊(S特)「山岡部隊」養成(大房岬で特殊訓練) 館山海軍航空隊より神風特攻隊「第一御盾隊」出撃
45	20	硫黄島の戦い、東京大空襲、沖縄戦 南房総下滝田に特攻機「桜花」基地建設、南房総白浜に艦砲射撃 広島・長崎に原爆、ポツダム宣言受諾・終戦 米占領軍3,500名館山上陸、4日間の直接軍政
2001	平成 13	大房岬要塞群・幕末砲台跡が南房総市(旧富浦町)指定文化財となる